

新市庁舎への「ふれあいショップ」の設置について
 (公共施設を活用した障害者就労啓発事業)

1 運営法人の公募について

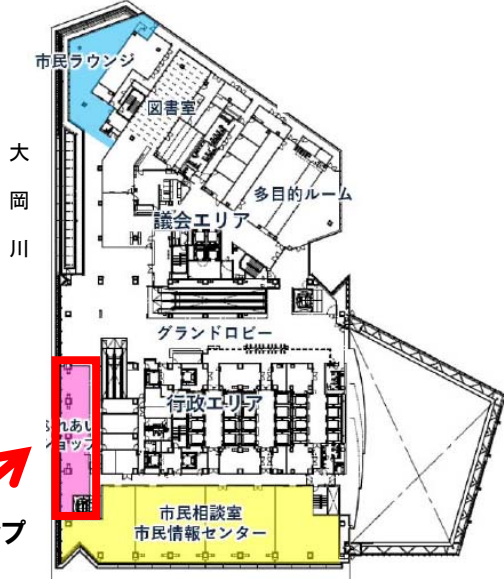
横浜市では、公共施設を活用した障害者就労啓発事業を実施し、障害のある方の雇用の場を創出するとともに、市民への障害理解の啓発を行っています。

この度、本事業として、2020年度に開業を予定している新市庁舎内にふれあいショップ^(※)を設置するため、運営法人の公募を行います。

^(※)「ふれあいショップ」とは

障害者就労啓発事業として、障害者を雇用し、公共施設内で飲食物の提供や障害者施設等の自主製品の販売等を行っている店舗（現在、市内9か所設置）。社会福祉法人、特定非営利活動法人等の民間団体が運営。

2 設置概要

| | |
|--------|--|
| 施設概要 | 所在地：中区本町6丁目50番地の10（新市庁舎内3階） 床面積：約170㎡ 最寄駅：JR・横浜市営地下鉄「桜木町駅」 みなとみらい線「馬車道駅」 |
| 事業内容 | 飲食物の提供（飲み物、軽食）、自主製品の販売、市が発行する刊行物等の販売（市からの委託業務）、就労啓発事業の実施 |
| 施設使用形態 | 行政財産目的外使用許可 |
| 開業予定 | 2020年6月 |
| 配置図 | <p>新市庁舎3階、大岡川に面した窓に沿った縦長のスペースに、ふれあいショップの設置を予定しています。このほか、新市庁舎3階は行政エリアや議会エリアのエントランスフロア（グランドロビー）であり、市民憩いの場となる市民ラウンジなどがあります。</p> <p style="text-align: center;">新市庁舎 3階平面図</p>  |

3 新市庁舎ショップの設置目的

新市庁舎ショップは、職員 6000 人が働く入り口に位置する、新市庁舎の「顔」となるショップです。市職員の日常的な利用や、刊行物の販売という行政機能の一部を担うことに加え、SDGs（持続可能な開発目標）や共生社会の推進などの発信拠点となっていくことを期待しています。

また、JR 関内駅北口高架下に就労啓発施設の設置を進めており、2020 年 4 月にカフェとして開業を予定（運営事業者：ジェイアール東日本グループ）。こうした近隣ショップとの連携等、新市庁舎ショップでは地域とのつながりをもった運営を目指しています。昨年度から、中間支援機関（特定非営利活動法人よこはま地域福祉研究センター）と横浜市の協働事業として、地域とつながる仕組みづくりを検討しています。

4 開業までのスケジュール（予定）

| | |
|---------------------------|---|
| 2019 年 5 月 | ・ 公募内容の審議（第 1 回選定委員会の開催） ➢ 5 月末に事業概要のプレゼンテーションを開催予定 |
| 2019 年 6 月～7 月 | ・ 公募の実施（7 月末頃締切予定） ➢ 6 月中旬に事業者向け説明会及び現場説明会を開催予定 |
| 2019 年 8 月 | ・ 事業者候補の審議（第 2 回選定委員会開催） ・ 事業者の決定 |
| 2019 年 9 月 ～2020 年 4 月 | ・ 開店準備 ➢ 事業計画作成、職員募集 ➢ 什器類の調達、（必要に応じて）内装工事 ➢ 行政財産目的外使用許可申請 2020 年 2 月 引渡し （什器搬入、従業員トレーニング） 2020 年 4 月 設置補助金申請 ^(※) 、営業許可申請 ^(※) 初度調弁費等の補助制度有 |
| 2020 年 5 月 | ・ 刊行物販売業務引継ぎ |
| 2020 年 6 月 | ・ 開業 ・ 設置補助金実績報告書提出、補助金交付 |

新市庁舎ふれあいショップに関する情報

公募に関する情報など、今後、横浜市ホームページで提供していく予定です。

【横浜市ふれあいショップ事業HP】

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/fukushi-kaigo/fukushi/annai/shuro/sonota-syuro-koyo/fuleaishop.html>

↓「横浜市ふれあいショップ」で検索↓

横浜市ふれあいショップ



担当：健康福祉局障害企画課就労支援係 奈良、平野、水口
TEL 671-3992 FAX 671-3566
E-mail kf-syuurou@city.yokohama.jp